

## ④火 碎 流

山頂の溶岩ドームが破壊されて、その破片や火山灰・火山ガスなどが混じり合い一気に斜面を流れ下る現象です。高温・高速（時速100km以上）で破壊力が大きく、危険な現象です。

火碎流の上部には熱風部が形成されます。

この熱風は本体部より軽いため、緩やかな尾根などは乗り越えることがあります。1991年の雲仙普賢岳噴火では火碎流で43名の方が犠牲になりましたが、犠牲者のほとんどはこの熱風部によるものでした。



## ⑤融雪型火山泥流

噴火によって雪が一気に融け、地面を削り取りながら、多量の土砂や岩石を巻き込み、高速で流れ下る現象です。

谷を流れる速度は時速数十kmに達します。平野部では谷から溢れ出て広い範囲に氾濫し、大きな被害が生じる危険な現象です。

1926年十勝岳で発生した火山泥流では、144名の犠牲者がでました。

